

## 平成 22 年度 室内環境学会第 2 回役員会議事要旨

日 時：平成 22 年 4 月 23 日（金）10 時～12 時  
場 所：(株) アイデック事務所内 5 階会議室  
出席者：小野、池田、中井、川上、篠原、柳、柳沢（委任出席）、東、櫻田（委任出席）、野崎  
事務局：中島、松村、色摩  
監 事：斎藤  
欠 席：なし

### 議事次第

#### 1) 平成 21 年度決算報告

斎藤監事より平成 21 年度決算報告の監査結果が報告され、承認された。最終的には H22 年度への繰越が 189 万円になった。

#### 2) 平成 22 年度総会・研究発表会準備状況

中井大会長より準備状況が報告された。日程は 2010 年 12 月 9・10 日、会場は横浜市開港記念会館に確定したことが報告された。スケジュールが示された他、シンポジウムは「室内環境問題における地域多様性（仮）」、市民公開講座は「室内環境問題に対する NPO の役割・成果（仮）」を予定していること、一般演題は Web 受付を予定しており、締切を 8 月 31 日とすることが報告された。また実行委員の紹介された他、収支予算書が提示された。一方、市民公開講座及び自由集会については本来事業委員会の担当だが、例年大会期間中のものについては大会実行委員会が担当している実態について整理すべきと意見があり、以後は現状通り、大会側で準備することとした。シンポジウムに東北地方も加えるよう提案があった他、協賛学会の書籍販売等の提案もあり、その対応については今後詰めることとした。

#### 3) 委員会等報告

学術委員会：中井委員長より、2009 年 12 月の学生懇談会の議事録が提出され、報告があった。また分科会活動、日韓台合同英文誌の準備状況及び諸外国の室内環境に関する様々な情報収集および発信について報告があった。

出版委員会：川上出版委員長より、「室内環境」第 13 巻第 1 号の準備状況が報告された。総説 1 編、解説 1 編、原著論文 3 編、関連情報 1 編および調査資料 1 編を掲載予定で、投稿数が増えてきている。また掲載論文を企業のパンフレットなどに転載するための規定と申請様式の作成に伴ない、投稿規定の改定を行うとの報告があった。転載については申請を受けた後、事務局及び出版委

員会で審議することとなった。

続いて「室内環境学概論」の進捗状況について 3 月末締切の原稿が順調に集まっている旨報告があった。今後のスケジュールを確認した後、多少のページ超過が予想されること、その場合には予定価格の調整があり得るとの説明があった。これに関し、他章との重複を調整したい旨の要望があったが、まず初校を作成してから内容の調整をすることとした。5 月末に初校ゲラを組み、委員会を開催する方向で調整することとした。また多忙による柳委員の辞任が報告された。その他、篠原広報委員長から「室内環境」誌掲載論文の医中誌への掲載について広報委員会で検討した結果、問題なしとの結論になったことが報告され、川上出版委員長の意見も踏まえ、契約することとした。

事業委員会：柳委員長より 9 月 1 日に分析展併設の第 2 回講演会「室内空気環境測定の最新技術」開催概要の説明があった。また法人会員を対象とした永年賞の準備状況が説明された。その他、日本エアロゾル学会研究大会、におい・かおり環境協会の協賛を承諾した旨報告があった。講演会については会場が分かりにくいので、HP での案内を工夫するよう指摘があった。

社会連携委員会：池田委員長より報告があった。台湾病態建築診断協会との連携について、メール審議で委員会としての方針を決めたいと説明があった。

広報委員会：篠原委員長より第 1 回の広報委員会での議論を含めた報告があった。HP の全体的な改訂を検討しており、見積等の準備を進めている件、バナー広告が開始された件の報告があった他、学会紹介パンフレットの原案が示された。パンフレットに関しては、学生会員獲得も視野に入れ、大学の教員宛に送る準備を進めるよう提案があった。

九州支部は文書で報告があった。2010 年 1 月 26 日に開催された支部研究発表会の内容、福岡県内の高校における教室内二酸化炭素濃度の測定等の活動が報告された他、夏に福岡県薬剤師会と共同で講演会開催を予定しているとのこと。

東北支部：野崎東北支部長より活動状況の報告があった。会員拡充を目指し、関連研究を行っている 4 大学に声をかけて助教、院生クラスの参加を

呼びかけているとの具体例が紹介された。

関西支部：東支部長より、支部役員会の開催、2011年1月に予定している勉強会等について報告があった。これに関し、支部会員への連絡方法にはメール送信が有効であることから、対象地域（周辺地域を含む）会員のメーリングリストの提供が要請され、広報委員会が各支部会員のメーリングリストを作成して提供することとなった。

化学物質分科会は文書で報告があった。2009年に3回の分科会と総会時にシンポジウムを開催した旨報告があり、2010年4月24日に慶應義塾大学三田校舎で「美容と室内環境」をテーマに分科会を開催するとのこと。

燃焼器具分科会：野崎代表より、昨年度の実験結果についての報告書を精査している段階との報告があった。

#### 4) 室内環境学会標準法認定に関する件

柳沢標準化委員長より室内環境学会標準法認定に関する基本規約、商標使用料に関する細則、室内環境学会標準法認定に関する細則について、前回役員会等が出された意見に対しての修正が

施された第2案が提出された。申請資格、認定後の運用等について確認があった。5月11日の標準回委員会での審議に間に合うよう、意見があれば4月内を目処に柳沢委員長宛にメールで連絡することとした。

#### 5) 会長及び監事選挙の件

中島事務局長より、今年度に行われる会長及び監事選挙に関し、告示案が示された。またこれに関し、選挙管理委員長の選出が行われ、平野耕一郎評議員が選出された。

#### 6) その他の件

会費納入状況について：事務局より、H21年2月以降の会員動向、会費納入状況が報告された。H21年度会費の納入率は正会員で84%程度であり、現在準備中のH22年度会費納入の案内送付と併せ、順次督促を行う予定であると報告された。

#### 7) その他

・次回は6月頃の開催を予定。

以上